



児嶋よしひこ (志政会所属)

議会だより

令和4年3月発行
発行/静岡市議会志政会
編集/志政会 広報部
〒420-8602
葵区追手町 5-1 本館 2 階
Tel: 054-653-3412

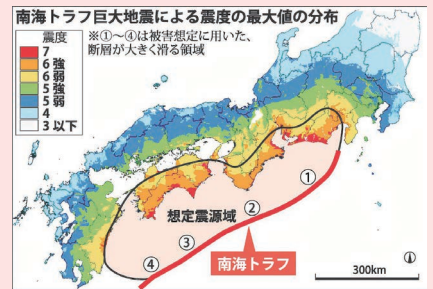
2月議会

令和4年2月議会が1月28日～3月18日まで会期50日で開かれました。私は3月3日の個人質問で登壇し、1. 津波発生時の対応について、2. デジタル化について、3. 子育て支援について、4. 市内宿泊者増加策について、質問を行いました。(以下は質問抜粋です)



1. 津波発生時の対応について

江戸時代以降、静岡を襲う大地震は、1707年の宝永地震、1854年の嘉永地震があり、宝永地震と嘉永地震の間隔が150年。嘉永地震から150年以上となると、いつ宝永地震や嘉永地震級の大地震が来てもおかしくありません。2011年の東日本大震災では、東北地方の沿岸地域が大津波に襲われました。太平洋に面した静岡市では、津波発生時には人命を第一に、津波浸水想定地域に住む市民全員を安全な場所に避難させる必要があります。



Q 津波発生時の避難場所となる津波避難タワーや津波避難ビルの収容人数は、地域住民の人数を満たしていますか。また、避難場所や避難方法をどのように周知していますか。

A 令和2年度に津波避難施設の整備が完了し、収容人数としても避難人数である津波避難困難者数を満たしています。住民への周知活動としては、案内標識等の設置や、自治会への説明会、インターネット版ハザードマップや広報誌等への掲載、避難場所への避難訓練を実施しています。今後訓練をより効果あるものとし、住民意識の啓発にも取り組んでいきます。

2. デジタル化 (デジタル地域通貨) について

スマホの全年代使用率は93%、60代でも82%となっており、スマホを使ったキャッシュレス決済で、小銭が不要であったり、ポイント還元などのサービスを受けている人が増えています。静岡市ではPayPayと連携した20%ポイント還元サービスを実施しましたが、地域全体をより活性化するために「デジタル地域通貨」があり、様々な行政サービスとの連携も可能です。



Q 消費喚起策として、デジタル地域通貨を導入する考えはありますか。

A デジタル地域通貨は一定の地域で確実に消費される仕組みとして有効な手段であり、他都市では地域での消費に加え、健康マイレージやボランティアポイントとして活用している事例もあります。今後も他都市の先進事例を含め、デジタル地域通貨に関する情報を収集するなど、研究を進めていきます。

静岡市議会では、本会議の様子を生中継と録画中継でご覧いただけます。今回の質問は、令和4年2月定例会 - 3月3日総括質問内にあります。是非、ご覧下さい。



3. 子育て支援（病児・病後児保育室）について

共働き世帯は1980年に35%であったのが、2010年には56%、2019年には68%と大幅に増加しており、共稼ぎ世帯では子供を預ける保育園やこども園が必須です。しかしながら、子供が病気になると、保育園やこども園では子供を預かってくれず、親が仕事を休んで子供の面倒を見る必要があります。子供が病気になった場合に、子供を預かってくれる病児・病後児保育室が静岡市には各区1ヶ所ずつありますが、あまり周知されていなかったり、サービスが使いづらければ、必要なサービスを必要な人に提供することができません。

Q 病児・病後児保育室の定員と受入れ状況はどのようになっていますか。

また、周知はどのように行っていますか。

A

定員は葵区が4名、駿河区と清水区が各3名となっており、受入可能人数に対する利用率は、2019年度が40.2%、2020年度が13.6%、2021年度が37.8%となっています。周知については、市のHPや子育て応援総合サイトへの掲載、子育てハンドブックなどでお知らせしています。今後は広報誌への掲載やSNSの活用、チラシ作成などにより周知を図っていきます。



病児・病後児保育

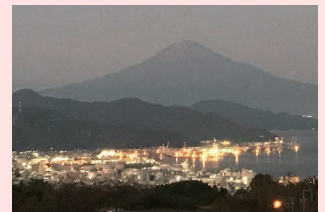
*事前に予約が必要です



	葵病児・病後児保育室 「輝き」	駿河病児・病後児保育室 「こうのとり」	清水病児・病後児保育室 「虹いろ」
所在地	葵区東草深町 8-18 (小児科いいやま医院 2 階)	駿河区敷地 1-22-23 (高松めばえ保育園内)	清水区天神 1-11-15 (清水待機児童園 2 階)
定員	4 名	3 名	3 名

4. 市内宿泊者増加策（夜景による誘客）について

静岡市の定住人口は減少傾向で、今後は交流人口や関係人口を増やしていくことが必要ですが、そのためには市外や県外・海外から多くの人に足を運んでもらう必要があります。多くの人に市内を観光してもらうと同時に、夜景や夜間イベントによる誘客により、市内に宿泊する人が増えると、市内の宿泊業や飲食業がより賑わうようになります。



日本平からの夜景

Q 日本平の夜景の魅力をより多くの方に届けるために、どのような取組を考えていますか。

A

日本平の夕暮れ時から日没にかけて、夕映えの富士山、移り変わる空の色、まちの灯が織りなすハーモニーは魅力的です。SNS上でのフォトコンテストの開催、メディア関係者を対象とした夕暮れの日本平を案内する特別バスの運行、多言語対応のプロモーションビデオ制作を予定しています。

【意見・要望】

津波発生時の対応については、津波浸水想定区域の住民全員が、自分達が避難する場所を理解して、大地震発生後に素早く避難できるか疑問が残ります。まずは避難訓練の参加者を増やす取組の強化と、行政から各世帯へ避難場所を郵送で伝えたり、住民票を移す際に避難場所を伝えるなどの対策をお願いします。

デジタル地域通貨については、導入の入口としてデジタル地域通貨を普及させ、今後はボランティア活動や防災訓練参加でポイントを貯めたり、給付金をポイントで付与したり、こども食堂や福祉タクシーにポイントを活用するなど、様々な行政サービスや地域の活動への展開をお願いします。

病児・病後児保育室については、施設について十分周知されていないと思うので、広報誌などによる周知活動の強化と、誰もが使いやすくなるよう、新しい施設の開設も検討いただきたい。

夜間を活用した誘客については、日本平夜景ツアーをホテルの宿泊プランに加えて専用バスを拡充させたり、青葉シンボルロードのイルミネーションや駿府城公園周辺のライトアップなど、他の夜間イベントも含めて、市内宿泊者を増やす活動をお願いします。

令和4年度当初予算の主な新規・拡充事業

2つのLife (いのち・暮らし)を守る

■市民の安心・安全の確保

- ・新型コロナウイルスワクチン接種事業
- ・PCR検査等の行政検査自己負担額の助成
- ・在宅ドクターサポート事業



■地域経済の活性化と賑わいの創出

- ・中小企業の機械設備導入等に対する支援
- ・デジタルスタンプラリーによるイベントと消費促進事業の連携



デジタル・脱炭素の実現

■窓口・施設におけるキャッシュレス決済の導入

市の31の窓口・施設にてキャッシュレス決済を導入
【導入時期】令和4年10月(予定)

■グリーン電力地産地消の推進

令和12年(2030年)までに、地域内の消費電力を全て再生可能エネルギーで賄い、CO2排出量をゼロにするエリアを市内3箇所に設ける。



5大構想

■歴史博物館の整備・運営

- ・令和2~4年度 建設工事・展示工事
- ・令和4年7月 プレオープン(1階のみ)
- ・令和5年1月 グランドオープン



■「どうする家康」放送に合わせた大河ドラマ館の開設・運営

- 【開設時期】 放送開始から1年間程度
- 【設置場所】 浅間神社内の旧静岡市文化財資料館

■駿府城公園の夜間景観整備によるナイトツーリズムの推進



エッフェル塔の照明デザインなどで知られる世界的照明デザイナー石井幹子さんと連携して、歴史博物館に隣接する異櫓や東御門、石垣などをライトアップする。

■(仮称)海洋・地球総合ミュージアムの整備



新型コロナウイルス感染拡大でストップしていた海洋文化施設整備計画を再開する。

市民文化会館が再整備されます

静岡市は、老朽化が進む市民文化会館の整備に着手するため、2月補正に2億2,400万円(*債務負担行為)の事業費を盛り込みました。既存のホール機能の向上と、小規模な練習・発表が可能なスペースの整備が柱で、PFI手法を用い、令和8年度末の建物工事完了を目指します。

*債務負担行為とは…複数年に渡る契約や後年度の支出が確実なものを、期間・内容・限度額などを決めておいて、将来お金を払っていく行為のこと。

【スケジュール】

- 令和4~5年度 基本設計
- 令和4~6年度 PFIアドバイザー業務
- 令和5年度 事業者公募
- 令和6年度 事業者決定・実施設計(PFI)
- 令和7~8年度 工事実施(PFI)2年間休館
- 令和8年度末 建物工事完了(予定)
- 令和9年度末 広場等工事完了(予定)

練習や発表ができる創造活動スペース

- ・小規模な発表や展示ができる部屋
- ・音の出る練習や発表ができるスタジオや練習室の整備 等

使いやすい中ホール

- ・約1,000席
- ・照明や音響などの設備更新



良質な文化芸術に触れる大ホール

- ・約2,000席
- ・照明や音響などの設備更新

気軽に立ち寄りたくなる広場

- ・イベント用設備の設置
- ・付帯施設(カフェ・コンビニ等)新設
- ・観光バス駐車場確保

・トイレ増設(特に女性トイレ)

- ・バリアフリートイレ設置
- ・エレベーター設置 等

高校生との意見交換会

昨年12月、静岡市立高校の1年生と2年生の計17名と意見交換会を実施しました。市議会議員は6名参加し、3つのグループに分かれて、それぞれのテーマに関してグループディスカッションを行いました。①人口増加に向けた食育支援等 ②教育にかかる費用や道路整備 ③通学路の向上

①では人口減少対策から子育て・女性の活躍支援の話が、②では自宅での学習スペース確保や中高生の職場体験の話が、③では公園の充実や施設の整備の話が出てきて、課題や対策について一緒に考えました。

生徒さんから見れば議員は遠い存在のようですが、今回の交流で少しは身近な存在となり、今後、政治や地域に関心を持ってもらえるのではないかと思います。



ICT活用の授業を視察

志政会では毎年、教育現場視察を行っています。今年度は1月上旬、駿河区の大里東小を訪れ、ICTを活用した6年生算数の授業を視察しました。統計の学習が展開されており、児童一人一台の端末を活用してデータ処理を行っていました。ICTを活用した授業展開としては静岡市内でも先進的な実践です。担任教諭のほか、端末操作を補助するICT支援員も教室をまわり、生徒をサポートしていました。

社会全体がICT化にむけて加速している中、学校教育でもICT教育の推進が進められています。現在は授業の在り方が大きく変わっていく過渡期ですが、数年後には、この光景が市内の学校の様々な教室で展開されることになるでしょう。ICT機器の活用は、あくまでも個人の思考を高めしていくための手段であると考えますが、子どもたちにとってよりよい授業が展開されるよう側方支援していかなければならないことも同時に強く考えさせられた視察となりました。

都市建設委員会

都市局と建設局の令和3年度の2月補正と、令和4年度の当初予算案について審議しました。

都市局に対しては、恩田原・片山地区と宮川・水上地区の土地区画整理事業を計画通り進めることや、常葉大学静岡草薙キャンパス前歩道橋からJR線につながる道路拡幅事業について、歩行者の安全性と夜間照明を充実すること、新静岡ICから近い「鯨が池周辺整備事業」について、費用対効果を確認の上、魅力的な施設となるよう要望しました。

建設局に対しては、南幹線からSBS通りをつなぐ久能街道が狭く危ないことから、日出町高松線の早期開通や、急傾斜地崩壊対策事業にて、緊急性の高い場所をタイムリーに把握して早期対策できるよう要望しました。



議会だよりを送付させていただいた方の住所など変更がありましたら、お手数おかけしますが下記まで変更内容をご連絡ください。(今後送付不要の方も住所と氏名を下記までご連絡ください。)

携帯電話：090-3484-8199 (ショートメールでも可) メールアドレス：kojimayoshihiko@outlook.jp